

----- さやま・文化の息吹 -----

映画鑑賞団体

「さやま映画クラブ」

映画は人生の友！そして夢の掛け橋？

生まれつき「映画はキライ」という人はいないと思います。

でも、映画は殆ど観ないという映画無縁人(?)は、いらっしゃるに違いない。それはきっと、その人がこれまでに観た映画がつまらなくて、「映画」にすっかり失望してしまったから、に違いありませんね。

私たちは、そんな人たちにも、もう一度映画を愛してもらうために、「映画と市民の素晴らしい出会いをつくろう」を合言葉に、活動を始めました。

そして2002年12月、中央図書館で第1回「名作映画上映会」以来、毎月ごとの上映60回。累計総入場者も延べ2,500名を超えました。来月は、創立5周年の「記念上映会」を迎えます。

人ひとりが一生で経験することは、知れています。でも、映画を観ることで私たちは、人種と国境、時間を超えて世界の人々の生き方に学ぶことができます。またそうすることが、人と地球に優しくなる近道ではないでしょうか。

会長 本多 数義



----- さやま・文化の息吹 -----

「狭山美術展・生涯学習展」を終えて

第28回目の美術展が10月13・14日開催されました。当協会の展示会は会員の他に一般の市民に参加を呼びかけています。特徴は広いジャンルの展示です。

個人・グループの他に、毎回市内の福祉施設からの出展があります。今回は「福祉みのり会」です。意欲的にパン作りをしている「みのり会」からは、「飾りパン」という大作が出されました。

最近、第一線を退きいろいろな趣味に挑戦する市民が増えているので、男性会員が増えました。

「青少年文化体験フェスタ」では、子ども達にももの作りの楽しさを教えています。前回は、トイレットペーパーの芯を利用して「万華鏡作り」を指導しました。12月にはクラフトテープで「クラフト(竹)とんぼ」を作ります。

体験フェスタでは、工作をする会が当会だけなので、毎回参加希望が殺到し、定員以上の子どもに他の体験に回ってもらうことが多いのが残念です。

これからも30周年に向かって、良い仲間作りをしていきたいと思います。

狭山市民美術協会 会長 中村 正義

